

新春のご挨拶



職業安定部長
林 幹雄

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、日頃から職業安定行政の推進に格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年の年頭にあたり、職業安定行政の本年の取組について述べさせていただきます。

生産年齢人口の減少が進む中、地域の多くの業種において人材確保が困難な状況が続いており、特に中小企業では人手不足感が一層深刻化しています。こうした課題に対し、ハローワークは雇用のセーフティネットとしての役割を果たすべく、求人者・求職者双方への支援をさらに充実させ、マッチング機能の強化に取り組んでまいります。

具体的には、求人者に対して従来以上に積極的な事業所訪問を実施し、企業との信頼関係を構築することに重点を置き、能動的な人材確保支援を行うとともに、企業や職場の魅力発信をより一層充実させてまいります。また、訪問を通じて収集した企業情報を、求職者とのマッチングの場で有効に活用することで、単なる求人紹介にとどまらず、企業の特徴や強みを踏まえた精度の高いマッチングを実現してまいります。

一方、求職者に対しては、積極的な求人情報の提供や、収集した企業情報を活かした提案型の支援を通じて、様々な求職者層を取り込み、就職の実現に尽力してまいります。

加えて、働き方や支援ニーズが多様化する中で、その希望や課題を的確に把握し、担当者制による伴走型支援するとともに、キャリアコンサルティングの専門的スキルを活用し、丁寧な相談やあっせんを行うことで、求職者が安心して就職活動を進められる環境を整えます。

ハローワークは、県内各地域に拠点を持ち、地域企業の実情を最もよく理解するマッチング機関です。この強みを最大限に活かし、地域に密着したきめ細やかな対応を行うことで、雇用の安定と地域経済の活性化に貢献し、雇用のセーフティネットとしての使命を果たすため、企業・求職者双方に寄り添った各種取組を着実に推進してまいります。

物価上昇を上回る持続的な賃上げを実現するためには、生産性の向上が不可欠ですが、そのためには、デジタル技術の導入による業務効率化と、それを担う人材の育成が求められており、労働者一人ひとりのリ・スキリングによる能力向上支援の重要性は一層高まっております。

こうした取組を推進するため、公的職業訓練におけるデジタル分野の拡充を図るとともに、人材育成に際し研修設定や費用負担に課題を抱える企業に対し、県内ハローワークにおいて「デジタル人材育成支援制度説明会＆相談会」を開催し、助成金や訓練制度の活用促進に努めております。

また、ハローワークでは、企業が求める人材像や必要なスキルを一覧化した「デジタルスキル表」を活用し、デジタルスキルを有する求職者との効果的なマッチング支援を進めてまいります。また、職種を問わず業務にデジタルの知見を活用できる求人を「DX推進求人」として登録できる仕組みを設け、把握した求人情報を求職者や職業訓練受講者に幅広く提供することにより、マッチングの促進に取り組んでまいります。

県内における障害者雇用は、実雇用率、雇用者数ともに年々増加し、着実に進展しているものの、法定雇用率及び全国の雇用率を下回る状況となっています。令和8年7月には法定雇用率が2.5%から2.7%に引き上げられることから、さらに障害者雇用を促進するため、関係機関と連携しながら、障害のある方に寄り添った就労支援を行うとともに、企業の皆様が安心して障害者雇用を進められる環境づくりを進めてまいります。

本年も多様な課題に対して適切に対応していく所存ですので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとってより良い年になるよう祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。